

図書室だより



令和7年7月18日(金)発行
潮来市立潮来第一中学校図書室

豆知識

はづき
【葉月】

一般的には、木の葉の紅葉が進み、葉が落ちる月、「葉落ち月（はおちづき）」が略されたものと言われていいます。また、稲の穂を張る月、すなわち「穂張り月（ほはりづき）」が略されたという説、初めてガンが渡ってくる月であることから「初来月（はつきづき）」を略して「葉月」と呼んだ説などがあります。



りっしゅう
《立秋》 8/7

二十四節気の一つ、「立秋」。暦の上では、この日から秋が始まります。暑中見舞いもこの日から残暑見舞いになります。平安時代には、風の音で秋に気付いた人もいたとか。暑さの中の秋の気配を探してみませんか？

しよしよ
《処暑》 8/22

「処暑」は二十四節気の一つで、「暑さがやむ」という意味があります。もちろん、まだまだ暑いのですが、日が落ちると虫の音が聞こえてくるようになります。夏が終わりに近づいています。

☆夏休み、到来☆

早いもので1学期が終わり、いよいよ夏休みを迎えます！今年は44日間もありますが、計画は立てていますか？3年生は、受験に向けてスタートを切る人が多いのではないのでしょうか。2年生は、職場体験学習で貴重な体験をしてきてください。1年生は中学校初めての夏休み、課題に追われることのないようにしたいですね。それぞれに、有意義な夏休みを過ごしてほしいと思います。

そんな中、読書にも励んでもらえると嬉しいです！夏休みは、自分のために使える時間が増えるので、読書をする絶好の機会です☆1日に数十分でも良いので、読書に時間を充ててみてください。夏休み中に読んだ本も、忘れずに読書記録フォームで入力しましょう(*^^*)

☆読書記録フォーム☆

今年度も、Google フォームを使って読書記録を行っています。1学期は、ここまで10人の人により、合計71件の入力がありました！どうもありがとう！県教育長賞・県知事賞をもらえるのは、誰でしょうか！？



☆夏休みの課題に挑戦！☆

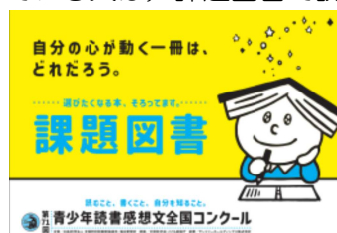
夏休みの課題と言えば、定番なのが読書感想文！本を読んだら、印象に残ったことや自分なりに考えたことなどを文章で表現してみませんか？課題図書については☆**オススメの本**☆で紹介しています。悩んでいる人は、課題図書で読書感想文を書いてみてはいかがでしょうか？

【2025年度 課題図書】

「わたしは食べるのが下手」

「スラムに水は流れない」

「鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者」



また、夏休みの自由課題として、市立図書館主催の「ポップコンテスト」を入れました。例年、たくさんの方が参加しています☆ぜひ、多くの方の参加をお待ちしています！同じ作品を使って、紫煌祭のときに「潮来一中ポップコンテスト」も開催予定です！！全校生徒の作品が揃うことを期待しています♪

【問題】

宮沢賢治は故郷岩手をモデルにした理想郷を何と呼んでいた？

ア. モリーオ イ. イーハトーブ ウ. トキーオ

【前号の答え】ウ. 鳥居

京都五山送り火は、毎年8月16日に行われる京都の伝統的な行事です。お盆の最後に、ご先祖様の霊をあの世に送るという意味が込められています。「大文字」「妙・法」「船形」「左大文字」「鳥居形」が市内5つの山で灯されます。



☆オススメの本☆

「わたしは食べるのが下手」

(小峰書店／刊 天川栄人／作)

会食恐怖症と摂食障害——。人と食事をするのが苦手な葵と、過食嘔吐を繰り返す咲子。ふたりの少女がたどりついた“わたしたち”なりの食との正しい付き合い方とは。わたしたちが望む給食って、いったいなんだろう？



「スラムに水は流れない」

(あすなろ書房／刊 ヴァルジャ・バジャジ／著 村上利佳／訳)

そもそもの問題は、水がたりないことだった。インド有数の大都会ムンバイ。ミンニと兄サンジャイが暮らすスラムには、ムンバイの人口の40パーセントが住んでいるのに、水は市全体の5パーセントしか供給されていないのだ。水不足が厳しくなる3月、兄サンジャイが闇の世界の秘密「水マフィア」を目撃してしまい……。

家族の絆、友情、シスターフッド……人は水なしでは生きていけない。でも、ほんとうに必要なのはそれだけじゃない！手に汗にぎる物語！



「鳥居きみ子：家族とフィールドワークを進めた人類学者」

(くもん出版／刊 竹内紘子／著)

鳥居きみ子の夫は、「知の巨人」ともいわれ、明治から昭和時代にかけて活躍した人類学者、鳥居龍蔵です。彼の生涯や研究業績を紹介した本はたくさんありますが、きみ子のことはこれまで紹介されたことがほとんどありません。

じつは、「家族とともに調査・研究する」という形で、女性の活躍が厳しい時代を生き抜いた先駆的な研究者なのです。人類学の中でも、昔から伝わる生活・風習・伝説・歌などを調べる民俗学を切り拓きました。その生涯をはじめて伝える1冊です。



8月の出来事

そろばんの日

そろばんの発祥の地は諸説ありますが、16世紀には日本に伝わってきたようです。そして鎖国をしていた江戸時代、日本ではヨーロッパに劣らない独自の数学が発展しましたが、その計算を支えたのがそろばん。8月8日(金)はそろばんの日です。そろばんを弾く音「パチ(8)パチ(8)」と読む語呂合わせから日付が決まりました。

そろばんを学習することでかけ算・わり算の計算力が向上するだけでなく、集中力や忍耐力も付きます。算数学習はもとより、日常生活や将来のためにも大いに役立つ力が身に付きます。毎年、全日本珠算選手権大会も開催されています。

皆さんは、そろばんに触れたことがありますか？指先を動かすことで、脳が刺激され、活性化されそうですね(^^)^^

夏の思い出

江間 章子

夏が来れば 思い出す

はるかな尾瀬 とおい空

霧のなかに うかびくる

やさしい影 野の小路

水芭蕉の花が 咲いている

夢見て咲いている水のほとり

石楠花色に たそがれる

はるかな尾瀬 遠い空

夏が来れば 思い出す

はるかな尾瀬 野の旅よ

花のなかに そよそよと

ゆれゆれる 浮き島よ

水芭蕉の花が 匂っている

夢見て匂っている水のほとり

まなこつぶれば なつかしい

はるかな尾瀬 遠い空